

【建築コース】

建築CAD検定准1級に合格しました！

高校生の合格者は全国で3名のみ



昨年10月に一般社団法人全国建築CAD連盟が実施した、「**建築CAD検定試験**」において、**建築・電気科 建築コース3年 沖田帆海さん（浜田東中卒）が最高位である准1級に合格しました。**

この資格は、文字通り建築用図面をCADと呼ばれるコンピュータソフトを用いて描く技量を測るもので、課題では建築図面（鉄筋コンクリート〔RC〕構造）を4面すべて完成させなければなりません。そのためには、豊富な建築製図知識とCADの経験が必要で、さらには建築物の用途や特性を理解したうえでの適切な判断が求められることから、高校生には極めて難易度が高い試験です。今後の活躍を期待しています。

准1級試験とは

図面の分量と密度は一級建築士試験の設計製図試験と同等です。寸法は必要最低限しか示されないため、建物の用途や特性から受験者が判断し、3時間30分で全図面を完成させる非常に難易度の高い試験です。

- CADシステムの設定（10分）
- 課題図面の読み取り・入力計画（30分）
- 課題の作図（3時間30分）